

令和2年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

山梨県

行事名称	「第67回文化財防火デー」防火訓練
実施期間・日時	令和3年1月26日(火)、10:00~10:40
実施場所	旧外川家住宅(富士吉田市上吉田3-14-8)
主催者	富士吉田市、富士五湖消防本部、富士吉田消防署、富士吉田市消防団

■実施内容

訓練の想定

令和2年1月26日午前09時30分頃、敷地内を見回り中の市職員が中門付近に白煙を認めたため確認すると、主屋から炎が上がっているのを発見し直ちに119番通報をした。

119番通報を受信した富士五湖消防本部指令センターは、富士吉田消防署各隊に出場を指令した。

訓練の内容

(1) 火災通報訓練 (2) 初期消火訓練 (3) 救出救護訓練 (4) 放水消火訓練

参加者及び役割分担

外川家住宅スタッフ：火災通報訓練、初期消火訓練、救出救護訓練(負傷者)

富士五湖消防本部：通報受付、無線統制

富士吉田消防署：現場指揮、救出救護訓練(救出救護)、放水消火訓練

富士吉田市消防団：現場視察

富士吉田市教育委員会：受付、各種調整、各種事務

特に工夫した点

実施場所周辺の住宅を訪問し、事前の周知に努めた。

本年度はコロナ禍にあったため、例年は参加者の多数を占める地元消防団分団の参加を見合わせたり来賓を減らしたりするなど、参加人数を極力減らしコンパクトにするように努めて計画した。

問題点・課題

参加人数を減らすという目的は達成したものの、実際に参加してもらえないことで地元消防団分団への啓発的効果は薄くなってしまったことは残念だがやむを得ないことだった。次年度は例年通りの開催ができることを望む。

その他

毎年消防署、消防団と協力して訓練を継続して行っているが、次年度以降も継続していきたい。

訓練風景



救出救護訓練



放水訓練